

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	10 施設、設備及び図書館等
中項目	
小項目	10.0.1 施設の整備
要素	会計大学院には、その規模に応じ、教員による教育及び研究並びに学生の学習その他当該会計大学院の運営に必要な十分な種類、規模、質及び数の教室、演習室、実習室、自習室、図書館、教員室、事務室その他の施設が備えられていること。これらの施設は、当面の教育計画に対応するとともに、その後の発展の可能性にも配慮されていること。
小項目	10.0.2 設備及び機器の整備
要素	会計大学院の各施設には、教員による教育及び研究並びに学生の学習その他の業務を効果的に実施するために必要で、かつ技術の発展に対応した設備及び機器が整備されていること。
小項目	10.0.3 図書館の整備
要素	会計大学院には、その規模に応じ、教員による教育及び研究並びに学生の学習を支援し、かつ促進するために必要な規模及び内容の図書館及び蔵書が整備されていること。

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 資料室図書貸し出しシステムの構築	→システムの構築状況。図書の貸し出し状況。	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

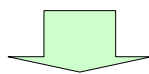
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目 10.0.1	(現状説明) 一部は経営戦略専攻との共用施設となっているものの、教員による教育及び研究並びに学生の学習その他本会計大学院の運営に必要な十分な種類、規模、質及び数の教室、演習室、実習室、自習室、図書館、教員室、事務室その他の施設が整備されている。これらの施設は、当面の教育計画に対応するとともに、今後の発展の可能性にも配慮されている。
☆ 小項目 10.0.2	(現状説明) 本会計大学院においては、各施設に、教員による教育及び研究並びに学生の学習その他の業務を効果的に実施するために必要な、かつ技術の発展に対応した、設備及び機器が備わっている。教室の規模によって各教室に配置している設備・備品は異なるが、基本的な教育機器はすべて利用できるように整えられている。
☆ 小項目 10.0.3	(現状説明) 本会計大学院においては、教員による教育及び研究並びに学生の学習を支援し、かつ促進するために必要な規模及び内容の図書館及び蔵書が整備されており、各種データベースや電子ジャーナルも利用できるようなっている。図書資料室は、経営戦略研究科の専用図書資料室であり、会計専門職専攻の専用使用が確保されている。
☆ その他	

## ◎効果が上がっている事項

## 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目 10.0.1	
小項目 10.0.2	
★ 小項目 10.0.3	
その他	



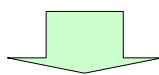
## 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目 10.0.1	
小項目 10.0.2	
★ 小項目 10.0.3	
その他	

## ◎改善すべき事項

## 【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目 10.0.1	
小項目 10.0.2	
★ 小項目 10.0.3	
その他	



## 【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目 10.0.1	
小項目 10.0.2	
★ 小項目 10.0.3	
その他	

## ◎自由記述

## 【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】

★ その他 (自由記述)	
-----------------	--

## Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

- 現状説明の記述は明確です。
- 西宮上ヶ原キャンパスと大阪梅田キャンパスとで教育活動を実施されていることでの施設・設備の課題等はないのでしょうか。

## Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ★ ○図書資料のアップデートを図る図書資料の選定を行う。